

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾		
○保護者評価実施期間	令和7年1月24日		令和7年2月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 43名	(回答者数)	38名
○従業者評価実施期間	令和7年1月24日		令和7年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人内のこども園等からの通所児童が多く、こども園等の保育士との情報共有が図りやすく、日常での保育と療育活動の連携による支援が充実している。	・保護者に対して、保育及び療育の観点で児童に対する発達に関する情報共有を行っている。	・法人内のこども園等の保育士等に対し、困りのある児童に対する専門職から支援のあり方などの研修に取り組む
2	・5年以上の児童指導員及び保育士や理学療法士(PT)<作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)を多数配置し、個別支援の充実を図っている。	・保育士会議とPTOTST会議を専門分野別に会議を実施し、毎週の活動カリキュラムに反映させ、小集団活動や個別支援の充実を図っている。	・法人内や系列の児童発達支援事業所との合同研修会や事例検討会などに取り組む。
3	・通所児童に対する活動状況を毎週、個別に写真付きで保護者にアプリ配信している。	・活動内容や児童の表情を中心にした写真撮影を心がけている。	・保護者に配信する個別の写真については、活動内容の目的や効果、課題とその時の児童の表情について、もっと詳しく専門職からの説明等ができるよう努めたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援について、ご家庭でできる支援のあり方など、専門職からのアドバイスや助言が不足している。	・インフォーマルアセスメントの取り組み方	・保護者との信頼関係を築き、日常生活での家庭での困りなどアプリ等を活用して、家庭内での情報の共有を図る。
2	・同じ悩みを持つ保護者間の交流などの支援ができていない	・個人情報保護の観点から、消極的である。	・次年度から「なごやカフェ」を開催し、保護者様に対して専門職からアドバイスの研修会や家庭での困りごと相談や保護者間の交流の機会を提供する予定。
3	・事業所の非常時の対応について、保護者の理解が進んでいない。	・保護者とのサービス利用契約時に説明しているが、情報提供が不足している。	・非常時の各種マニュアルについて、毎年度安全計画に基づき、アプリ配信とペーパーで配布する。

公表

## 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾		公表日		令和 7年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個別支援、集団活動、運動活動では、個室の利用やパーティションにより、集中力が高められるよう工夫しています。	・毎日の利用児童数に応じて、適切にスペースの確保ができるよう努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員配置基準より加配している。また、機能訓練スタッフも配置しています。	・福祉人材の確保に努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・視覚や聴覚が過敏な児童が落ち着けるよう環境に配慮しています。 ・絵カードやチャイム等による日課の周知	・下駄箱前の段差解消の方策を検討します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・サービス提供の前後、清掃と消毒を徹底しています。	・日々の安全点検に努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別支援や静養室など個室を配置し、適切に使用できるよう配慮しています。	・適宜、適切な環境の提供に努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議を実施し、多職種で参画しています。	・全職員が参画できるよう努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者評価を尊重し、個別については、モニタリングや担当者会議を利用し、全体的には連絡アプリを利用し業務改善の報告に努めています。	・できること、できないことをはっきり伝え業務改善に取り組みます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議により意見を聴いており、職員評価時も個別に意見聴取していいいます。	・継続して意見聴取により業務改善に取り組みます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者の外部評価は、法人として3年に1回実施することとしています。	・令和8年度に実施を予定しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人の主催する新任職員研修や、外部研修及びOJTにより研修機会を確保しています。	・職員体制の関係上、機会均等となるよう努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・令和7年3月1日公表	・特になし。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・適切に作成しています。	・個別支援の時間の確保。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・多職種による検討を行っています。	・検討内容が多職種で共有できるよう努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画をベースとした週案により、支援を実施しています。	・継続して、統一した支援に努めます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・医療機関で検査された内容や保護者等の日常生活の聴き取りにより、支援記録において確認しています。	・アセスメントの質が向上するよう努めます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域について検討された支援内容を、具体的に支援計画で反映させています。	・視野を広げた5領域の支援内容ができるよう努めます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・保育士会議やPTOTST会議の検討により、立案しています。	・チームワークの質を高めてまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・保育士会議やPTOTST会議の検討により、週案を立案しています。	・活動プログラムが固定化しないよう、活動内容の研鑽を行います。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別の課題やニーズによりアセスメントされた個別支援計画を作成し、支援を行っています。	・個別活動と小集団活動を適宜、適切に組み合わせることができるよう配慮します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日の朝礼時、欠席や活動変更などすり合わせを行い、チームとして対応しています。	・チームワークを大切にして連携を深めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・個別支援記録により、チームで共有しています。	・チーム内で気付きを大切にします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・フォーマットされた適切な個別支援記録により、支援の検証、改善につなげています。	・個別支援記録のあり方について、児発管を中心として研鑽に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・適宜、見直しを行っています。	・適切な見直しに努めます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・適切な関係者の参画を促し、参加できる環境を提供しています。	・適切な会議が開催できるよう関係者が参画できるよう努めます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療機関のリハ担当者や保育所等の保育士等との情報共有が適時できる体制をとっています。	・適宜、対応できるよう体制を整えられるよう努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・適切な情報共有と相互理解を図っています。	・こども園等との適切な情報共有と相互理解が図られるよう適宜、会議等を開催します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		本年度、就学移行が初めてあり、各小学校を訪問予定。	・小学校等との適切な関係性を築けるよう努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・特に専門職のリハ関係では、訪問により助言を受けています。	・積極的な連携が図れるよう体制を整えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現在は、活動機会がありません。	・今のところ機会はないが、法人内のこども園等との交流の機会を作りたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡アプリやLINEなどを活用し、共通理解を図っています。	・継続して共通理解に努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・現在は、研修機会等がありません。	・今のところできていないが、来年度は「なごやカフェ」を開催することとし、専門職の研修や講演などする予定です。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時、説明しています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメント時、ニーズの聴き取りを行い、担当者会議時、再度確認しています。	・意向確認については、継続して適切な機会の提供に努めます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・説明し、同意を得ています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・適時、いつでも相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・現在は、機会の提供がありません。	・今のところできていないが、来年度は「なごやカフェ」を開催することとし、保護者の交流の機会を提供する予定です。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・適時、相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	・連絡アプリを活用し、毎週実施しています。	・継続して定期的な情報発信に努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・法人規程に沿って、適切に留意します。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・絵カードなどを活用し、配慮している。	・タブレット機器を利用した、情報伝達についても検討しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・第三者委員に地区の自治委員を招聘しています。	・地域住民の皆様と適切な関係作りができるよう情報発信に努めます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・備え付けのマニュアルを閲覧できるようにしており、想定訓練も実施しています。	・毎年度当初に、マニュアルを連絡アプリで配信することを検討しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・訓練計画に基づき、訓練を実施しています。	・継続して、非常時の訓練に努めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	・アセスメント時、確認しています。	・継続して、適切に確認します。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・アセスメント時などを利用して、保護者から聴き取りを行っています。	・医師の指示書が伴う、児童がいた場合は、対処いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画を策定し、安全管理を徹底しています。	・適宜、安全計画の見直しをいたします。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・連絡アプリを活用し、周知しています。	・毎年度当初に、安全計画を連絡アプリで配信することを検討しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・様式を作成し取り組んでおり、職員会議等で検討を行い、全職員に周知しています。	・毎月、安全点検に取り組みたいと思っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・施設内及び外部研修に参加し、全職員に周知するとともに2カ月毎に虐待防止チェックを実施しています。	・継続して研鑽に努めます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	・現在、やむを得ず身体拘束を必要とする児童はいませんが、適正化委員会で検討しています。	・身体拘束の適正化について、研修及び適正化に努めます。	

公表

## 事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

○事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月24日		～ 令和 7年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月24日		～ 令和 7年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 1月24日		～ 令和 7年 2月 3日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5件	(回答数) 3件
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先では、法人内のこども園等が多く、保育士等との情報共有が図りやすく、訪問先での支援が充実している。	・訪問先での日頃の児童の様子や保育士からの日常保育の様子を聴取したり、訪問支援内容を保護者に報告し、情報を共有している。	・法人外の訪問先施設の信頼関係を築けるよう努めたい。
2	・訪問先での支援内容を事業所に持ち帰り、専門職に意見を聴いたりして、今後の訪問支援に役立てている。	・児童発達支援の職員に訪問支援内容を会議で検討し結果により、通所利用時に反映した支援に繋げている。	・法人内や系列の訪問支援職員との合同研修や事例検討などに取り組む。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・法人外の訪問先施設の訪問の機会に限られる。	・訪問先施設との信頼関係の構築。	・訪問先施設への丁寧な説明と保育所等訪問支援の理解の醸成。
2	・家族支援について、ご家庭でできる支援のあり方など、専門職からのアドバイスや助言が不足している。	・インフォーマルアセスメントの取り組み方	・保護者との信頼関係を築き、日常生活での家庭での困りなどアプリ等を活用して、家庭内での情報の共有を図る。
3	・同じ悩みを持つ保護者間の交流などの支援ができていない	・個人情報保護の観点から、消極的である。	・次年度から「なごやかカフェ」を開催し、保護者様に対して専門職からアドバイスの研修会や家庭での困りごと相談や保護者間の交流の機会を提供する予定。

公表

## 事業所における自己評価結果(保育所等訪問支援)

事業所名		社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾				公表日	令和 7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・同法人内では、教具教材の情報共有を行っている。	・適切な教具教材の研究に努めます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・適切である。	・訪問支援員の質の向上に努めます。	
業務 改善	3	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職 員会議を実施し、多職種で参画しています。	・全職員が参画できるよう努めます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者評価を尊重し、個別については、モニタ リングや担当者会議を利用し、全体的には連絡ア プリを利用し業務改善の報告に努めています。	・できること、できないことをはっきり伝え 業務改善に取り組みます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職 員会議により意見を聴いており、職員評価時 も個別に意見聴取しています。	・継続して意見聴取により業務改善に取り組 みます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	・第三者の外部評価は、法人として3年に1回 実施することとしています。	・令和8年度に実施を予定しています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人の主催する新任職員研修や、外部研修 及びJOITにより研修機会を確保しています。	・職員体制の関係上、機会均等となるよう努 めます。	
適切 な支 援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成 しているか。	○		・適切に作成しています。	・個別支援の時間の確保。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・多職種による検討を行っています。	・検討内容が多職種で共有できるよう努めて います。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・担当者会議にて、多職種協働による検討を 行い、訪問先の意見を聴取しています。	・継続して、適宜、訪問先に参画してもらい ます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		・支援計画をベースとした週案により、支援 を実施しています。	・継続して、連携した統一支援に努めます。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・医療機関で検査された内容や保護者等の日 常生活の聴き取りにより、支援記録において 確認しています。	・アセスメントの質が向上するよう努めま す。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿った支援内容を、具体的 に支援計画で反映させています。	・ガイドラインの具体的支援内容に沿った支 援に努めます。	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		・毎日の朝礼時、欠席や活動変更などすり合 わせを行い、チームとして対応しています。	・チームワークを大切にして連携を深めま す。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・個別支援記録により、チームで共有してい ます。	・チーム内で気付きを大切にします。	
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		・訪問先の理念等に配慮し、支援している。	・訪問先施設との信頼関係を築いていきま す。	
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		・フォーマットされた適切な個別支援記録に より、支援の検証、改善につなげています。	・個別支援記録のあり方について、児発管を 中心として研鑽に努めます。	
18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行って いるか。	○		・適宜、見直しを行っています。	・適切な見直しに努めます。		
19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・適切な関係者の参画を促し、参加できる環 境を提供しています。	・適切な会議が開催できるよう関係者が参画 できるよう努めます。		

関係機関や保護者との連携	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療機関のリハ担当者や保育所等の保育士等との情報共有が適時できる体制をとっています。	・適宜、対応できるよう体制を整えられるよう努めます。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・本年度、就学移行が初めてあり、各小学校を訪問予定。	・小学校等との適切な関係性を築けるよう努めます。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部研修に積極的に参加しています。	・研修等による自己研鑽に努めます。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・参加要請がありません。	・要請があれば、積極的に参加します。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡アプリやLINEなどを活用し、共通理解を図っています。	・継続して共通理解に努めます。
保護者等への説明等	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・現在は、研修機会等がありません。	・今のところできていないが、来年度は「なごやカフェ」を開催することとし、専門職の研修や講演などする予定です。
	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時、説明しています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・訪問先施設には、理解協力が得られるよう丁寧に説明しています。	・継続して、理解協力が得られるよう努めます。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメント時、ニーズの聴き取りを行い、担当者会議時、再度確認しています。	・意向確認については、継続して適切な機会の提供に努めます。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・説明し、同意を得ています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・適時、いつでも相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・現在は、機会の提供がありません。	・今のところできていないが、来年度は「なごやカフェ」を開催することとし、保護者の交流の機会を提供する予定です。
	32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・適時、相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・連絡アプリを活用し、毎週実施しています。	・継続して定期的な情報発信に努めます。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・法人規程に沿って、適切に留意します。
訪問先施設への説明等	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードなどを活用し、配慮している。	・タブレット機器を利用した、情報伝達についても検討しています。
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・即時、対応できるよう児発管と共に体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・適宜、会議等を行っています。	・適切な支援に応じられる体制づくりに努めます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・連絡アプリを活用し、保護者に支援内容を報告しています。	・継続して、支援内容の共有に努めます。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・法人規程に沿って、適切に留意します。
40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・担当者会議等に参加していただき、信頼関係を築くとともに助言等を行っている。	・継続して、担当者会議など参画を促します。	

非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・備え付けのマニュアルを閲覧できるようにしており、想定訓練も実施しています。	・毎年度当初に、マニュアルを連絡アプリで配信することを検討しています。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定し、安全管理を徹底しています。	・適宜、安全計画の見直しをいたします。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・様式を作成し取り組んでおり、職員会議等で検討を行い、全職員に周知しています。	・毎月、安全点検に取り組みたいと思っています。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・施設内及び外部研修に参加し、全職員に周知するとともに2カ月毎に虐待防止チェックを実施しています。	・継続して研鑽に努めます。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、やむを得ず身体拘束を必要とする児童はいませんが、適正化委員会で検討してまいります。	・身体拘束の適正化について、研修及び適正化に努めます。